

公共建築物における木材利用の推進について

(広島県農林水産局林業課)

1 趣 旨

平成22年10月に施行された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」を踏まえて策定した「広島県公共建築物等木材利用促進方針」に基づき、県が整備する建築物等の木造化等に向けた取組を進めており、設計及び整備状況等について、とりまとめを行なった。

2 木造化等の状況

- (1) 県営事業については、平成24年度から設計段階で木造・木質化に取り組んだことにより、平成25年度から全ての施設で木造・木質化が実施又は計画されている。
- (2) 県補助事業については、年度によってばらつきが見られるが、近年の木造化率は40%前後、木質化率は50%前後で推移している。
- (3) 市町営事業については、全ての市町において木材利用方針を策定し、木造・木質化に向けた取組に着手しており、木造・木質化率ともに徐々にではあるが向上してきている。

表1 県営事業における木造・木質化状況

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (計画)	
県 営 事 業	設 計	木造対象件数	1	2	3	3	
		木造件数	1	2	3	3	
		木造化率(%)	100%	100%	100%	100%	100%
	木 質	木質対象件数	4	5	5	9	2
		木質件数	4	5	5	9	2
		木質化率(%)	100%	100%	100%	100%	100%

表2 県補助事業における木造・木質化状況

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (計画)	
県 補 助 事 業	実 施	木造対象件数	14	9	14	11	
		木造件数	5	3	9	5	
		木造化率(%)	36%	33%	64%	45%	37%
	木 質	木質対象件数	36	14	16	12	14
		木質件数	26	1	3	6	7
		木質化率(%)	72%	7%	19%	50%	50%

表3 市町営事業における木造・木質化状況

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (計画)	
市 町 営 事 業	設 計	木造対象件数	39	39	28	32	
		木造件数	16	8	8	13	
		木造化率(%)	41%	21%	29%	41%	50%
	木 質	木質対象件数	55	58	46	39	28
		木質件数	14	20	16	15	13
		木質化率(%)	25%	34%	35%	38%	46%

3 課題等

(1) 県営事業

設計段階から取り組んでいるため、木造・木質化が定着している。

(2) 県補助事業

補助の申請時には建物の構造が既に決定しているため、事業者や設計を担当する設計事務所等に対し、設計前の段階で木造・木質化を働きかける必要がある。

(3) 市町営事業

市町との意見交換に基づく情報提供などにより木材利用に対する意識は少しずつ向上していると考えているが、一部の市町では木材利用方針に基づく全庁的な取組が進んでいないことと併せて、設計・発注を担う部署においても、木材の調達先や価格など木材に関する情報が不足し、建築コストなどの理由から木造・木質化が敬遠されるケースがある。

4 今後の対応

(1) 県営事業

引き続き、木造・木質化に向けた取組を進める。

(2) 県補助事業

発注者である民間事業者が集まる会議に参加し、公共建築物等の木造・木質化をPRするリーフレット等を活用して、意識啓発を図るとともに、昨年度設立した「ひろしま木造建築協議会」の建築士等と連携して、木材を使用する優位性を事業者へ提案するなど、木造・木質化の働きかけを強化する。

(3) 市町営事業

引き続き、設計・発注を担う部署との意見交換会を通じて、コスト削減の事例や木材調達に関する情報を提供するとともに、「ひろしま木造建築協議会」が開催する技術研修会への参加を呼び掛けるなど、木造建築に対する発注者のスキルアップと意識改革を図る。